

グループ沿革

西日本FHグループの中核を成す西日本シティ銀行の原点は、「中小企業専門金融機関」です。旧2行で培われた「中小企業育成のDNA」を脈々と継承し、不良債権問題等のさまざまな難題を乗り越えながら、これまで数多くの地元中小企業とともに成長の歩を進めてきました。

地域経済へのさらなる貢献とグループ企業価値の最大化を目指し、持株会社体制への移行、九州内屈指のICT会社・リース会社、DX支援会社のグループ会社化といったさまざまな経営基盤の強化策を展開しています。

2004

西日本シティ銀行誕生

2004年10月、経営基盤のさらなる強化を図るため、西日本銀行と福岡シティ銀行が合併し、西日本シティ銀行が誕生しました。
両行の子会社・関連会社については、各社の特長・強みを最大限に活かすべく、業務の再編や統合を進め、グループ総合金融力の強化に取り組みしました。

2016

西日本FH誕生・持株会社体制への移行

2016年10月、グループ内の結束・連携を一層強化し、将来のさまざまな環境変化やリスクに適切に対応するため、西日本FHを頂点とした持株会社体制へと移行し、新たな経営管理態勢を構築しました。

2022

グループ総合力の強化

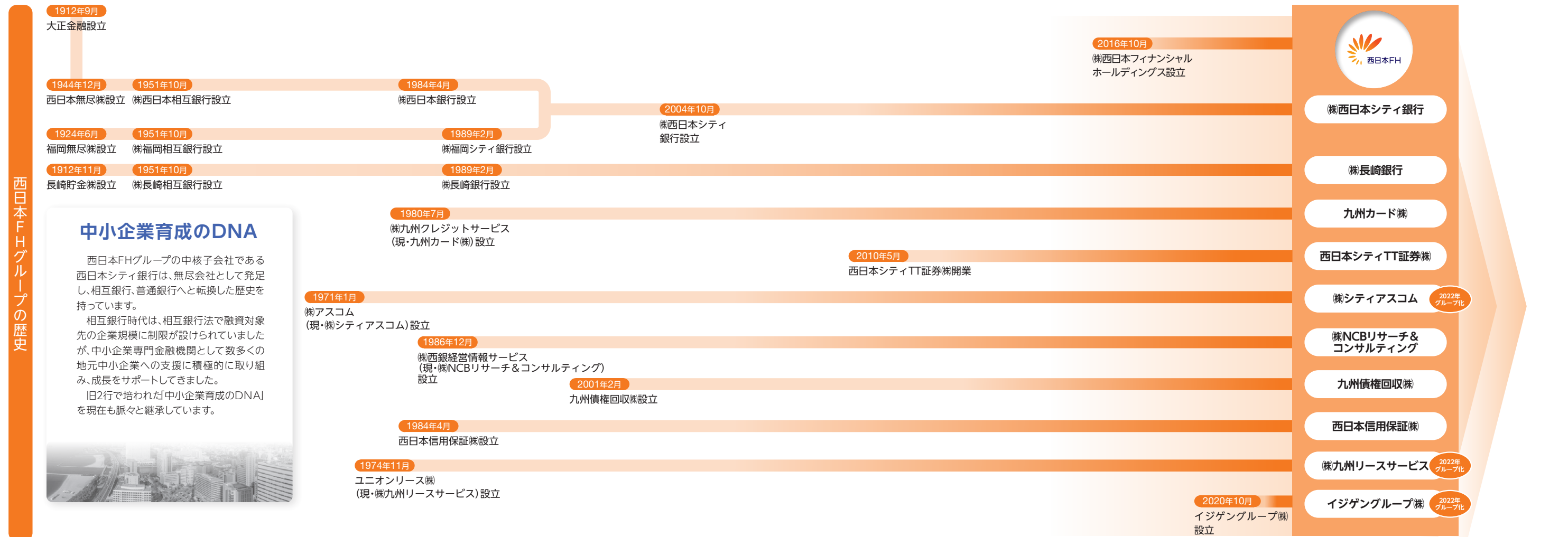
グループ総合力のさらなる強化を目的に、2022年10月に九州内トップクラスのICT会社である株式会社シティアスコム及び九州内で首位の事業規模を誇るリース会社である株式会社九州リースサービスを、2022年12月にDXコンサルティングやデジタル技術を活用したサービス開発に強みを有するイジゲングループ株式会社をグループ会社としました。

2023

中期経営計画「飛翔 2026 ～つなぐココロ、つなげるミライ～」スタート

2023年4月から2026年3月までの3年間を計画期間とする中期経営計画「飛翔 2026 ～つなぐココロ、つなげるミライ～」をスタートさせました。
経営理念で掲げる「総合力No.1の地域金融グループ」の実現に向け、4つの基本戦略「1.お客さま起点の“One to Oneソリューション”の提供」「2.営業革新」「3.人財革新」「4.サステナビリティへの取組み」を展開しています。

1950 2000 2010 2020



中小企業育成のDNA

西日本FHグループの中核子会社である西日本シティ銀行は、無尽会社として発足し、相互銀行、普通銀行へと転換した歴史を持っています。
相互銀行時代は、相互銀行法で融資対象先の企業規模に制限が設けられていましたが、中小企業専門金融機関として数多くの地元中小企業への支援に積極的に取り組み、成長をサポートしてきました。
旧2行で培われた「中小企業育成のDNA」を現在も脈々と継承しています。

親密企業の歴史

- 1949年9月 大熊印刷(株)(現・ダイヤモンド秀巧社印刷(株))設立
- 1951年4月 有恒社(現・西日本ユウコー商事(株))設立
- 1961年6月 西日本不動産開発(株)設立
- 1974年12月 九州総合信用(株)設立
- 1952年1月 西日本ビル(株)設立
- 1969年7月 福岡エフエム音楽放送(株)(現・エフエム福岡(株))設立
- 1978年12月 西日本書庫センター設立

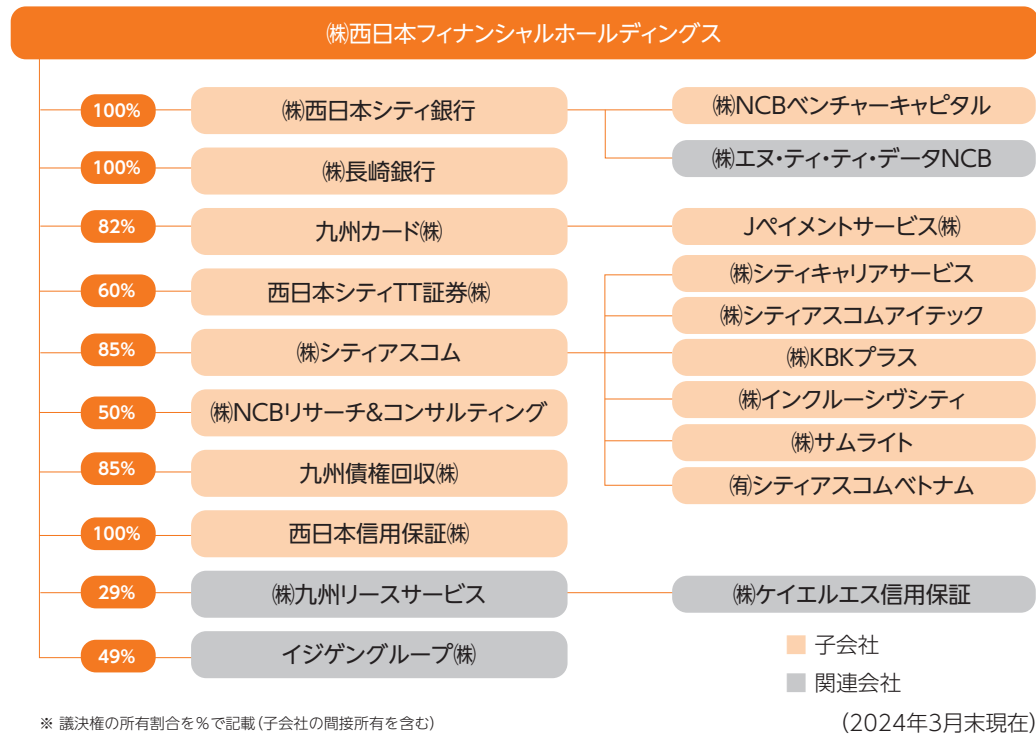
親密企業群

西日本FHグループは、多様なビジネスを営む有力な企業群と歴史的に親密なつながりを持っています。子会社・関連会社に加え、そうした親密企業との連携を強化することにより、お客さまの幅広いニーズに対応できる態勢を構築しています。

グループ概要

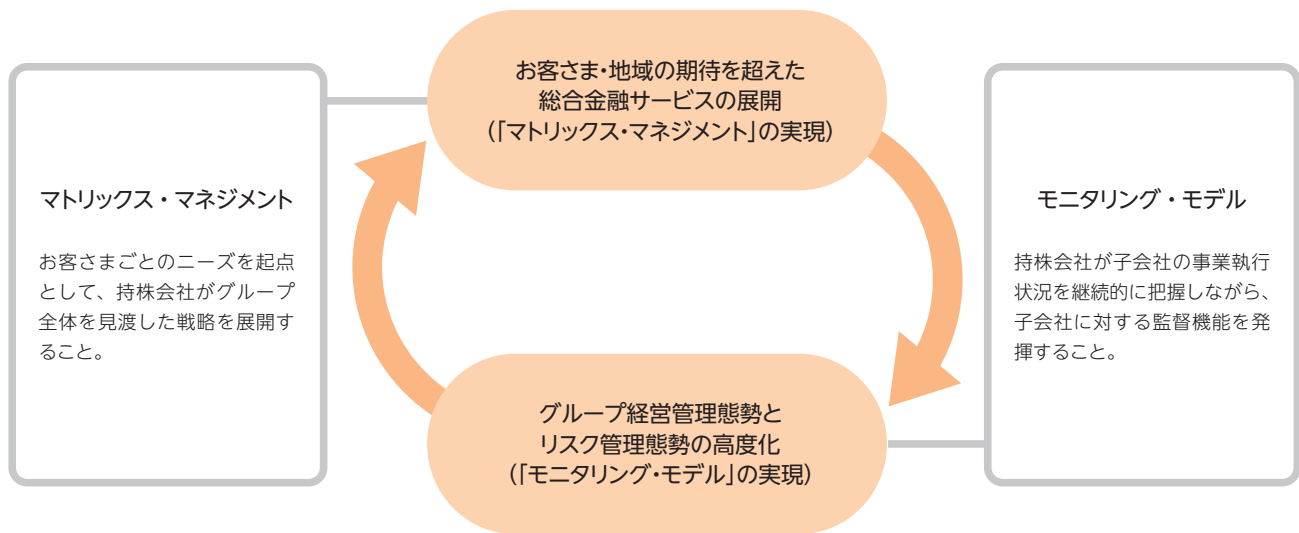
グループストラクチャー

西日本FHグループは、持株会社である西日本FHが各社を横断的に俯瞰しながら、グループの司令塔としてその舵取りを行う“各社並列型”のストラクチャーを採用しています。グループ各社が有する特長・強みを、持株会社体制のもとで最大限発揮・活用することにより、「地域経済へのさらなる貢献」と「グループ企業価値の最大化」を目指しています。



グループ経営戦略

西日本FHグループは、持株会社体制のもと、「お客さま・地域の期待を超えた総合金融サービスの展開(「マトリックス・マネジメント」の実現)」と「グループ経営管理態勢とリスク管理態勢の高度化(「モニタリング・モデル」の実現)」の2つのグループ経営戦略を展開します。



西日本FHグループの強み

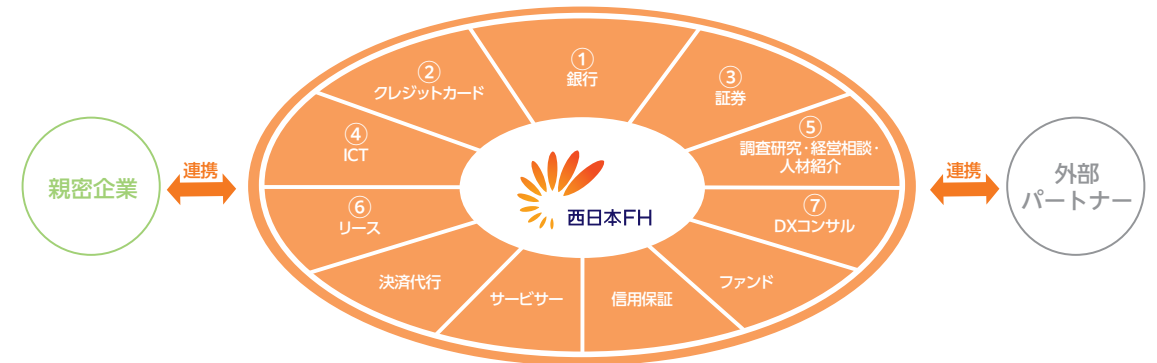
グループ総合力

西日本FHグループは、2016年10月、持株会社である西日本FHの直下に銀行・証券会社・カード会社など多様かつ特長のある子会社7社を並列に並べた持株会社体制へと移行しました。

グループ総合力のさらなる強化に向け、2022年10月に九州内トップクラスのICT会社である株式会社シティアスコム及び九州内で首位の事業規模を誇るリース会社である株式会社九州リースサービスを、2022年12月にDXコンサルティングやデジタル技術を活用したサービス開発に強みを有するイジゲングループ株式会社をグループ会社としました。

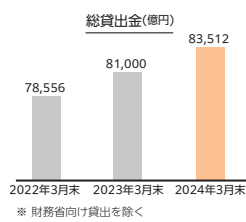
西日本FHグループは、グループ各社の事業活動を一体的に運用するマトリックス・マネジメントの実践により、金融に留まらない多様なソリューション機能を有する地域金融グループへと進化しています。

また、西日本FHグループは、多様なビジネスを営む有力な企業群と親密なつながりを持っており、グループ会社に加えて、そうした親密会社との連携により、お客さまの幅広いニーズに対応できる態勢を構築しています。加えて、多様かつ先進的なサービスの提供や地域活性化の実現に向けて、外部企業、地方公共団体、大学等とのオープンイノベティブな提携・連携にも積極的に取り組んでいます。



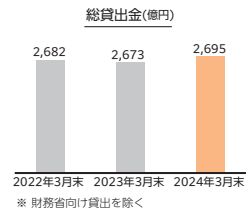
西日本シティ銀行

西日本FHグループの中核をなす貸出金
地方銀行第5位の銀行です。
「お客さまと地域の発展なくして西日本
シティ銀行の発展なし」との信念の下、高い
志と誇りを持って時代の変化に適応し、お
客さまとともに成長する九州No.1バンク
の実現を目指しています。



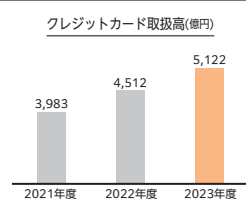
長崎銀行

2022年11月に創業110周年を迎えた
長崎に本拠地を置く第2地方銀行です。
地域金融機関として、地域に密着し、地
域社会の発展に奉仕するとともに地域に
支持される銀行を目指しています。



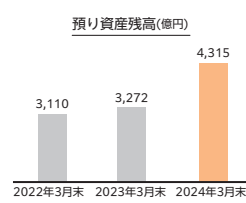
九州カード(株)

地銀系クレジットカード会社で第1位の
取扱高を誇るクレジットカード会社です。
1980年の設立以来、クレジットサービス
の普及に努め、地域のお客さまに豊かさ
と快適さを、安心とともに提供しています。



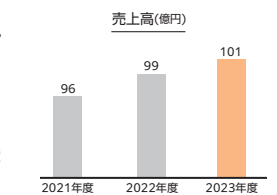
西日本シティ証券(株)

2010年に東海東京フィナンシャル・ホ
ールディングス株式会社と合併で設立した証
券会社です。
お客さま一人ひとりの運用ニーズにあ
ったコンサルティング提案やソリューション
の提供を行い、お客さまに最も選ばれる証
券会社を目指しています。
また、2022年4月より、地銀系証券会社
としては全国で初めて主幹業務に参入し
ています。



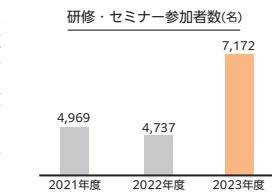
シティアスコム

2022年10月にグループ会社となった、
売上規模、技術者数で九州地区ではトップ
クラスを誇るICT企業です。
「お客様と明日を創るICTパートナー」の
理念に基づき、社員一人一人が質の高い
技術とサービスを提供することにより、お
客様に信頼され、地域社会の発展に貢献
することを目指しています。



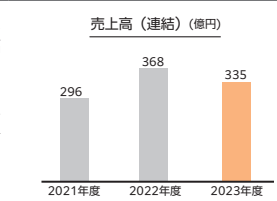
NCBリサーチ&コンサルティング

経済・金融に関する情報のご提供のほ
か、企業が抱える、人にまつわる経営課題
＝優秀な人材を獲得する／育てる／定着
させる＝解決をご支援するための国内外人
材紹介、研修・セミナー、人事制度構築、さ
らに、海外販路開拓など海外ビジネスのコン
サルティングを通じ、地域の企業経営者の
ベストパートナーを目指しています。



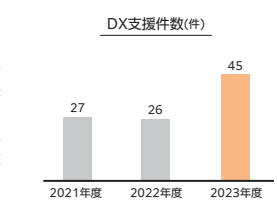
九州リースサービス

2022年10月にグループ会社となった
東京証券取引所スタンダード市場及び福
岡証券取引所本則市場に上場する九州内
で首位の事業規模を誇るリース会社です。
「地域に密着した営業」と「総合金融サー
ビス」の展開を強みとし、お客さまに合わせ
た付加価値の高い「多様なソリューション」
を提供しています。



イジゲングループ(株)

2022年12月にグループ会社となった
ワンストップのDX支援を行う会社です。
テクノロジーやコンサルティングを通じ
て企業の新規事業開発や経営課題の解決
にむけて取り組んでいます。
ビジネス分野、テクノロジー分野、クリエ
イティブ分野のワンストップでの支援を強
みとしています。



確固たる取引基盤とお客さまとの信頼関係

■メイン取引先数 (2024年3月末現在)

西日本シティ銀行

22,722社

西日本FHグループの中核子会社である西日本シティ銀行は、2004年10月の設立以降、規模を拡大し、総資産13兆1,468億円、預金等(預金+譲渡性預金)残高10兆1,847億円、貸出金残高8兆9,594億円、さらにはメイン取引先数22,722社と確固たる取引基盤を有しています(2024年3月末現在)。

また、九州カードは、国際クレジットカードブランドを機軸としたフルブランド展開を行い、会員数963千人、加盟店数68千店、カード取扱高5,122億円と、地銀系クレジットカード会社でトップクラスの取引基盤を有しています(2024年3月末現在、カード取扱高は2023年度)。

地域密着型金融

■地域別貸出金比率

九州 福岡県
西日本シティ銀行 86.8% 76.8%

■中小企業等貸出金比率

西日本シティ銀行 78.8%
(2024年3月末現在、財務省向け貸出を除く)

西日本FHグループは、「地域の発展なくして西日本FHグループの発展なし」との信念のもと、地元企業・産業の育成支援に積極的に取り組んでいます。

西日本シティ銀行は、貸出先の約9割が九州、約8割が福岡県であり、地元重視の営業展開を行っています。

また、貸出先の約8割が中小企業・個人であり、それらのお客さまの事業内容や成長可能性を適切に評価し、必要な解決策を提案・サポートする事業性評価に積極的に取り組んでいます。

中小企業育成のDNA

■創業・第二創業支援件数・融資金額 (2023年度)

西日本シティ銀行 3,717件・1,834億円

■「経営者賞」表彰者数 (2024年4月末現在)

累計186名

西日本FHグループの原点は中小企業専門金融機関であり、「中小企業育成のDNA」を脈々と継承しています。西日本シティ銀行は、地域の産業・雇用の創出に向けた創業支援に積極的に取り組んでいます。創業間もない企業をはじめとする多くの地元中小企業に寄り添い、きめ細かにサポートしています。2023年度における創業・第二創業支援件数は3,717件、融資金額は1,834億円でした。

また、1973年より、公益財団法人経営者顕彰財団を通じて、地域経済の発展に顕著な実績を挙げた経営者を対象に「経営者賞」を授与しており、これまでに186名を表彰しています。

国内外の広域ネットワーク

■国内

西日本シティ銀行 158か店※
長崎銀行 22か店※
西日本シティTT証券 11拠点

※インターネット支店・プランチインプランチ実施店等を除く (2024年6月末現在)

「西日本シティ銀行アプリ」口座登録件数 累計101万件
(2024年3月末現在)

西日本FHグループは、国内外にわたる広範なネットワークを構築しています。

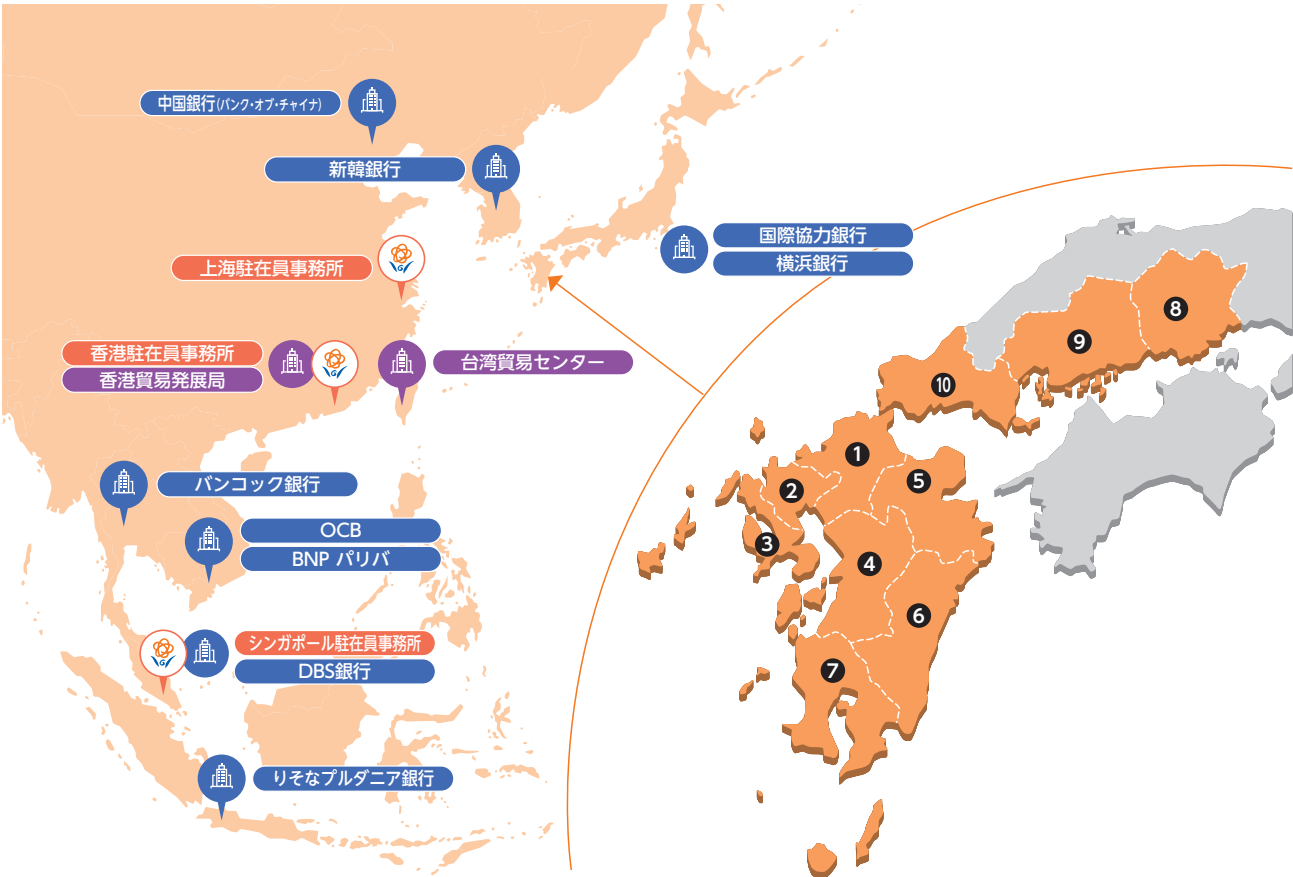
国内では、九州・福岡を中心に銀行・証券会社の営業拠点網を展開し、リアルチャネルならではの“ヒューマンタッチ”の営業を展開しています。同時に、個人のお客さまにはスマホアプリ「西日本シティ銀行アプリ」、法人のお客さまには法人版プラットフォーム「NCBビジネスステーション」を中心に、デジタルチャネルの機能強化による、お客さまの利便性向上にも注力しています。

海外では、西日本シティ銀行の駐在員事務所3拠点(上海・香港・シンガポール)の活用や、現地の提携機関、専門家などとの連携により、お取引先のアジアを中心とした海外ビジネスに関するニーズにお応えしています。

■海外

西日本シティ銀行 3駐在員事務所
提携金融機関 9機関
提携機関 2機関

ネットワーク



国内拠点

西日本シティ銀行……158か店※ 長崎銀行……22か店※ 西日本シティTT証券……11拠点

※インターネット支店・プランチインプランチ実施店等を除く

① 福岡県	西日本シティ銀行 133か店 西日本シティTT証券 9拠点	④ 熊本県	西日本シティ銀行 2か店 長崎銀行 2か店 西日本シティTT証券 1拠点	⑦ 鹿児島県	西日本シティ銀行 1か店	(その他)	東京都 西日本シティ銀行 1か店
② 佐賀県	西日本シティ銀行 4か店 長崎銀行 1か店	⑤ 大分県	西日本シティ銀行 5か店	⑧ 岡山県	西日本シティ銀行 1か店	大阪府	西日本シティ銀行 1か店
③ 長崎県	西日本シティ銀行 3か店 長崎銀行 19か店	⑥ 宮崎県	西日本シティ銀行 3か店 西日本シティTT証券 1拠点	⑨ 広島県	西日本シティ銀行 2か店		
				⑩ 山口県	西日本シティ銀行 2か店		

海外拠点・提携機関

西日本シティ銀行 …………… 3駐在員事務所 提携金融機関 …………… 9機関 提携機関 …………… 2機関

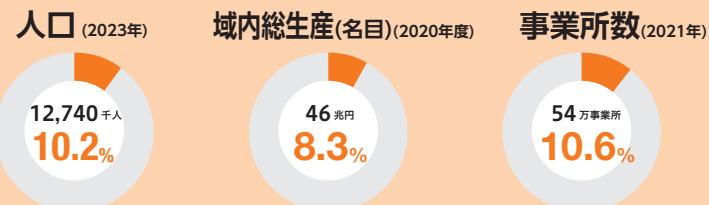
(2024年6月末現在)

営業基盤の特長

西日本FHグループの主要地盤である九州・福岡は経済力に富み、都心部における大型再開発プロジェクトや半導体を中心とした産業集積が進むなど、恵まれたマーケット環境にあります。

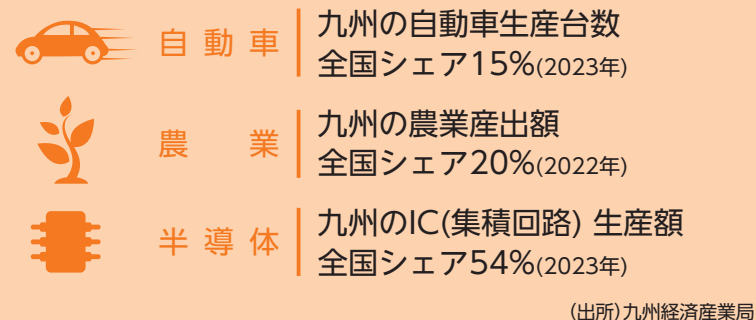
九州は日本の「1割経済」

3大都市圏に次ぐ経済規模(全国シェア)



九州は成長著しいアジア諸国と密接な相互関係

九州には多様な産業が集積



半導体関連設備投資の活発化

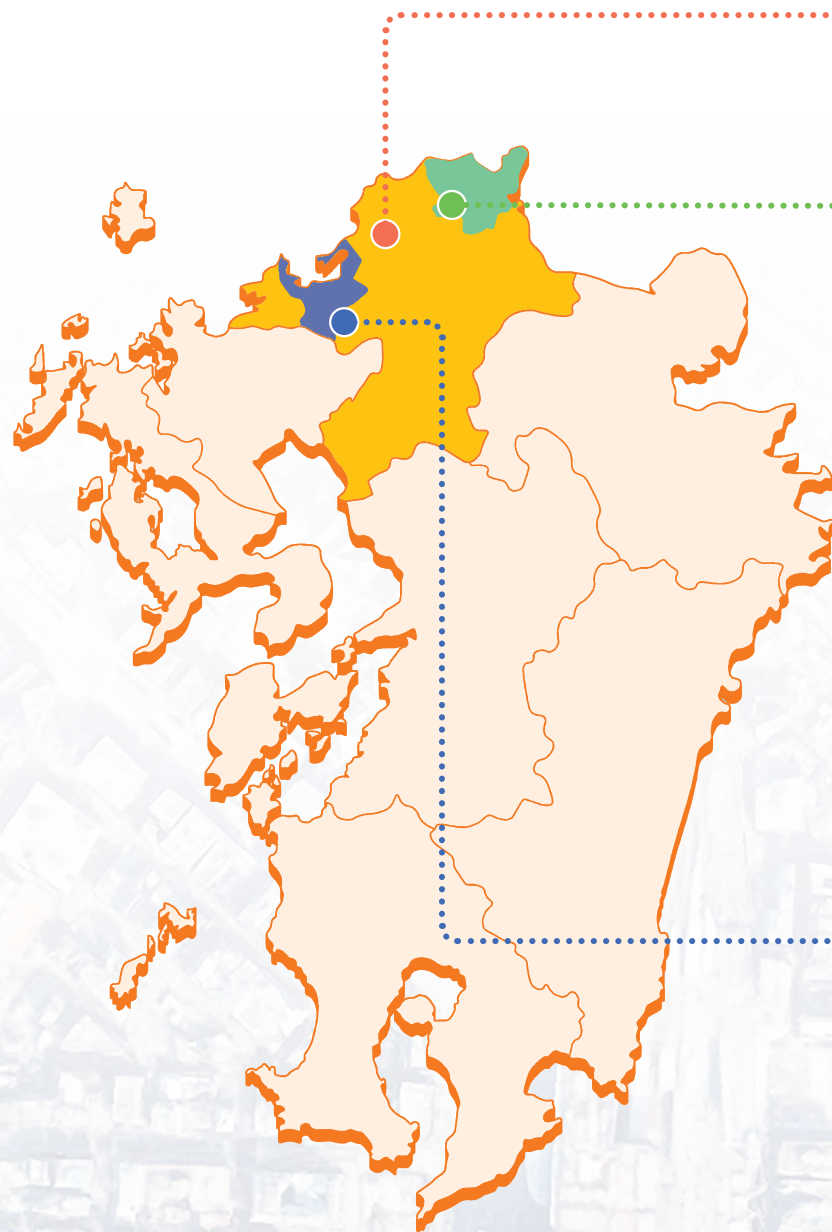
世界的半導体メーカーのTSMC(台湾積体電路製造)の熊本県進出をはじめ、半導体増産に向けた大型設備投資が九州において活発化

P21 参照

九州には豊富な観光資源が集積

西九州新幹線(武雄温泉～長崎間)が2022年に開業

九州



福岡県

福岡県のGDPは九州の4割超

九州の中小企業34万社のうち、
福岡県の中小企業は13万社 (2021年)

(出所) 中小企業庁



北九州市

北九州市の「産業と環境の両立」は国の内外で高い評価

OECD「SDGsモデル都市」に選定(2018年)
「SDGs未来都市」、「環境未来都市」に選定(2018年)
北九州都市圏域18市町で「脱炭素先行地域」に選定(2022年)



太陽光・風力発電、水素大規模拠点を
はじめとする再生可能エネルギー
関連産業が集積

2025年度、響灘沖にて国内最大級の洋上風力発電所が運転開始予定

福岡市

福岡市の人口増加率(6.7%)は21大都市でトップ

※ 2015～2023年の増加率

(出所) 福岡アジア都市研究所

福岡市は2035年ごろまで
人口増加が続く見通し



福岡市の開業率(5.3%)は21大都市地域でトップ

※ 2022年度の開業率。全国平均3.9%

(出所) 福岡市経済観光文化局



福岡市には大型都市再開発
プロジェクトが林立



P22 参照

西日本FHについて

成長戦略

経営基盤

各種データ

Map data © Google

特集 地元九州・福岡のポテンシャル

九州

経済成長

全国を上回る経済成長率

九州経済の見通し (GDP前年度比)

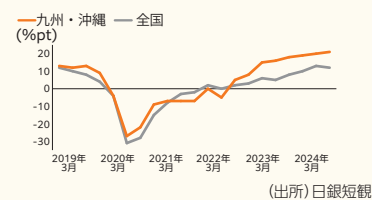
(%)	2020年度 (実績)	2021年度 (推計)	2022年度 (推計)	2023年度 (予測)	2024年度 (予測)
九州	▲4.9	2.4	3.2	1.9	1.4
全国	▲3.9	2.8	1.5	1.6	1.0

(出所)九州経済調査協会

Point

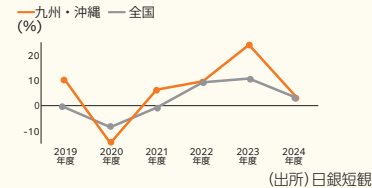
業況判断DI

企業景況感は、全国を上回る水準で推移



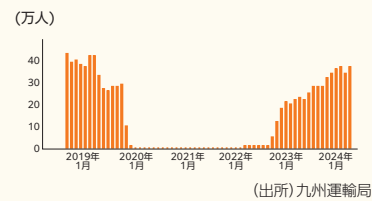
設備投資動向

(前年度比)
設備投資は、伸び率が鈍化するものの、高水準で推移する見通し



インバウンド動向

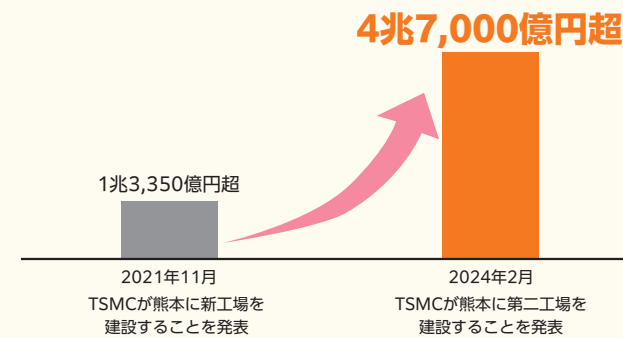
訪日外国人数は、概ねコロナ禍前の水準まで回復



半導体

旺盛な半導体関連投資

九州で計画・実施されている半導体関連設備投資額 (公表分) の推移



Point

九州の半導体関連企業

988社

周辺産業の企業群



西日本FHが把握する半導体投資に係る企業の資金需要
<ヒアリング先数 約700先>

うち資金需要あり

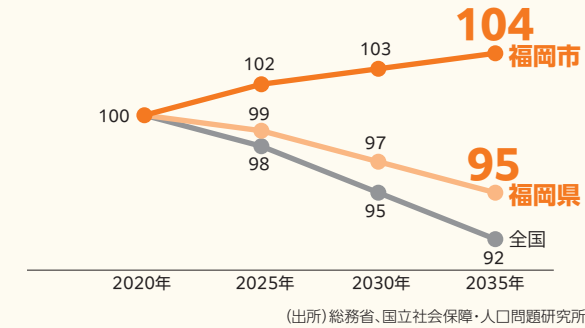
約200先/約950億円
(2024年3月末時点)

福岡

人口

中長期的に全国を上回る人口推移

2020年の人口を100とした場合の人口推移



Point

福岡市の人口増加
(社会増)に占める
15歳～24歳の割合

約8割
(出所)総務省、福岡県

福岡市の若者率※

※人口に対する15歳～29歳の割合

21大都市中1位
(17.6%)
(出所)福岡アジア都市研究所

福岡市に対する
第三者評価

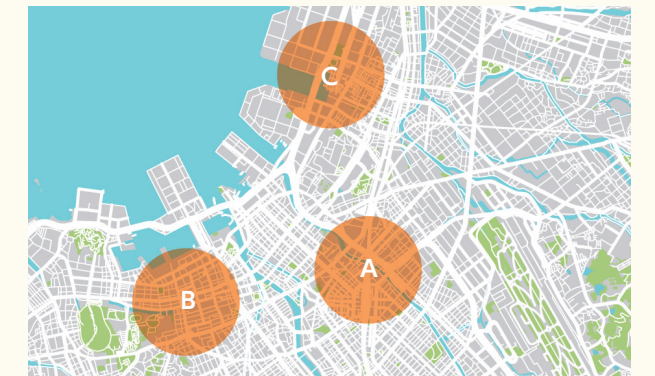
合計スコア
(東京23区を除く
主要136都市中)

4位

経済ビジネス 2位
交通アクセス 3位
生活居住 3位
(出所)森記念財団「日本の都市特性評価(2023)」

都市開発

大規模再開発プロジェクトの進行



Point

代表的なプロジェクト

A 博多コネクティッド 【期間:2019年12月～2028年12月】	建設投資効果	2,600億円
	経済波及効果/年	5,000億円
B 天神ビッグバン 【期間:2016年5月～2026年12月】	建設投資効果	2,900億円
	経済波及効果/年	8,500億円
C 九州大学箱崎キャンパス跡地再開発 【期間:2023年4月～】 国内の再開発では最大規模	敷地面積	約50ha (出所)福岡市

西日本FHグループの取組み

九州地銀による連携協定の締結

- 西日本シティ銀行を含む九州沖縄・山口の地方銀行13行は、「新生シリコンアイランド九州」の実現に向けて、連携協定を締結しました。
- 西日本シティ銀行は、連携協定に基づく協議会の幹事行として、運営に関与しています。

連携分野

- サプライチェーン強靱化
- サステナビリティ推進
- ファイナンス

半導体専門チームの設置

- 西日本シティ銀行は、2024年4月、半導体専門チームを本部に設置しました。
- 西日本FHグループは、外部機関等と連携し、半導体関連の幅広い取引先を支援しています。



etc.

西日本FHグループの取組み

天神ビッグバン

国家戦略特区による規制緩和等を活用し、老朽化したビルの建替えなどを推進するプロジェクト

- 西日本シティ銀行は、現在進行中の「天神ビジネスセンター2期(仮称)」のプロジェクトに主体的に関与しています。

博多コネクティッド

地下鉄延伸など交通基盤の拡充とあわせ、容積率の規制緩和により、耐震性の高い先進的なビルへと建て替えるプロジェクト

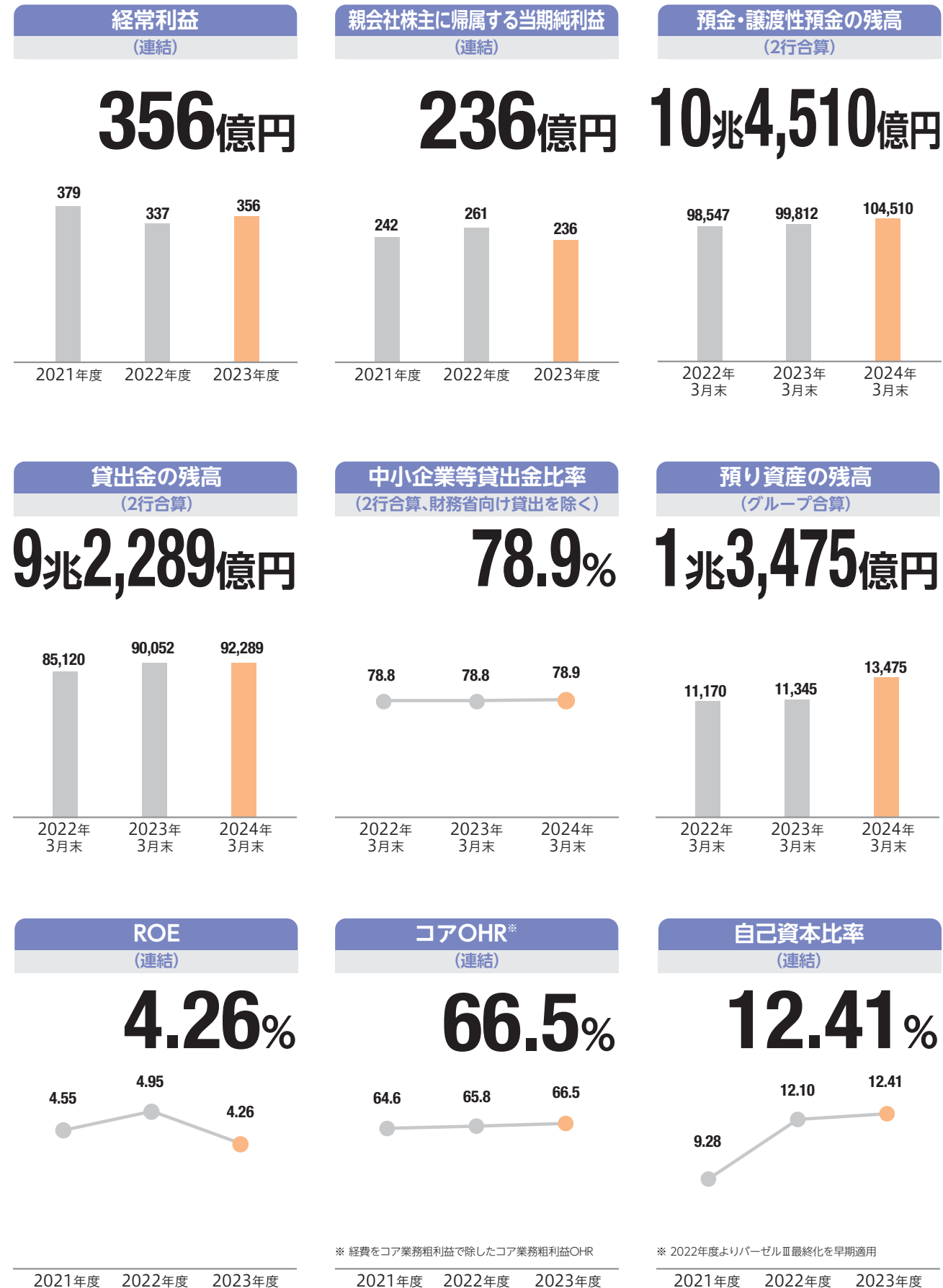
- 西日本シティ銀行は、本店建替えを含む博多駅前の連鎖的再開発に着手しています。



西日本シティ銀行の本店機能に加え、オフィスフロアや商業店舗を配置した複合ビルとなる予定

財務ハイライト／非財務ハイライト

財務ハイライト



非財務ハイライト

